

ホクレン農業協同組合連合会 行動計画

女性職員がより活躍することができ、働きやすい職場環境の整備を行うために、次のように行動計画を策定いたします。

1. 計画期間

2022年4月1日から、2026年3月31日までの4年間（第三期）

2. これまでの経過と今後の取組みについて

2019年4月1日～3年間実施した行動計画第二期においては、総合職採用者に占める女性割合を直近3か年平均対比1.5倍以上とする目標に対し1.4倍とわずかに目標には届かなかったものの、おおむね目標の水準に達する取組みを行うことができました。

また、管理職全体に占める女性の割合は安定した水準を保っているものの、役職者に占める女性の割合は第二期を通じて減少傾向となりました。

一方、個々のライフスタイルに合わせた「総合職」と「地域総合職」の双方向の転換を可能としており、より働きやすい環境の整備に努めております。

第三期（2022年度～2025年度）においては、さらに女性職員の活躍を推進すべく、引き続き女性総合職の採用に力を入れつつ、全職員を対象とした育児・介護・治療の両立支援対策をより一層充実させ、ワークライフバランスの実現に向けた制度の見直しを図るとともに、教育・研修を通じた会内の意識改革に取り組みます。

3. 目標と取組内容

【目標1】 総合職採用者に占める女性割合を各年度2.5割以上とし、総合職全体に占める女性割合の向上に努める。

〈対 策〉 2022年度から順次実施

① 求職者に対する積極的な広報の展開を行う。

※ インターンシップを充実させ、キャリア形成を支援する。

② 各種階層別研修においてコース転換制度を継続して周知し、制度の積極利用を促す。

【目標2】 女性の平均勤続年数1年引上げや働きやすい職場環境の整備に努める。

〈対 策〉 2022年度から順次実施

① 産前・産後休業や育児休業などに関わる就業体系や福利厚生の実現に向けた検討を行う。

② 女性職員の活躍を意識した研修体系の変更を行う。